

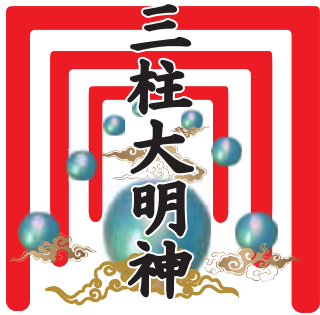
神代之風



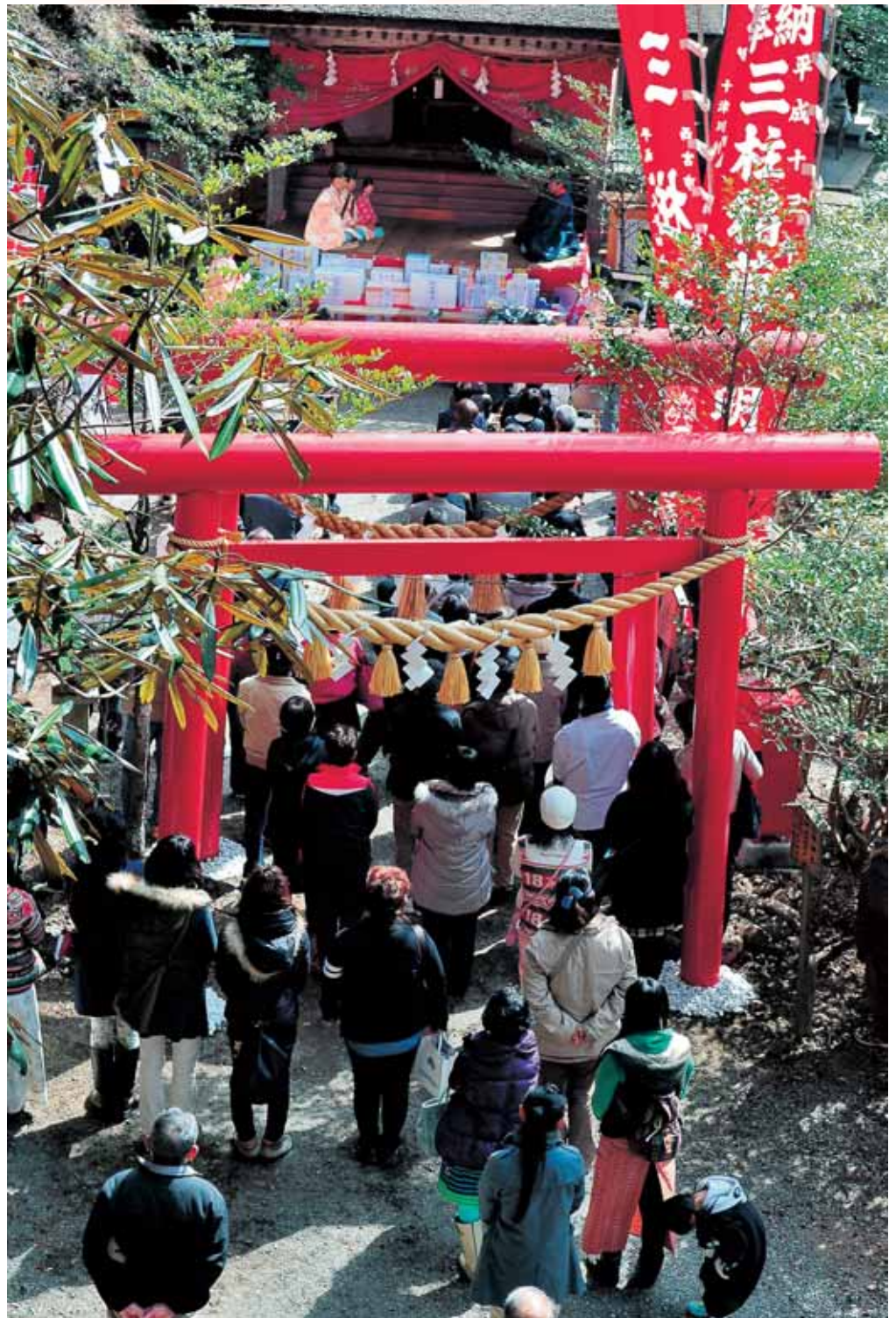
発行：玉置神社
発行人：弓場 季彦
TEL 0746-64-0500
FAX 0746-64-0429

■5月14日 出雲大社玉置教会大祭

■6月30日 夏越大祓



初午祭



本年もたくさんの

方々が参拝して

くださいました

数日前の雪が嘘のように柔らかな陽射しをまぶしくくらいに浴びて祭典もご満足のようでした。

昨年と比べて様変わりしたことは(一) 赤い鳥居となったこと。(二) 御稻荷眷属(けんぞく) 像が一对増えたこと。(三) 元の御稻荷眷属像のパネル写真2枚が掲出されたこと。(四) 神楽が新しい神子メソッドで演じられたこと。(五) 祭員に女子神職が加わったこと。全体的に動きと力強さがみなぎってきたように見えました。恒例の餅まき・ぜんざいのふるまいも好評。十津川の観光大使、小芝陽子さんの声量豊かな声も魅力的でした。



チェンソーアートの狐さん



写真家・大世さんチェンソーアートの城所さん玉串奉奠



受付嬢は忙しい!



受付にて手続きを終え急ぎ会場に向かう南さん



まかない方も大忙し!「ごちそうさん」



ふるまいぜんざい大賑わい

賑わう 平成26年初午祭

ようお参り
くださいました!



▲典儀 吉村祐香権禰宜

▼宮司ごあいさつ



ぜんざい最高!
アッチッチ〜



神楽舞
▲太鼓：大谷さん

▲舞：坂上さん



歌手の小芝陽子さん

餅まき

玉置神社の弓神楽 「古来の神事を継承します」

2人の若者に喝采を！

「かぐら」の語源は神座(かみぐら)がつづまつたというのが定説だ。神座を設け、神様を勧請して祭る人々や地域社会の生命、家族、豊かな実りなどへの加護を祈願する神事芸能。弓神楽は、中世頃には全国的に行われていたらしいが、今では土佐、備後の一部などで知られているばかり。

玉置神社に伝わる弓神楽(王城火防鎮護と悪魔退散の神事)は、こうした中でも、どこにもない所作・形態を保った珍しいものだ。山上の、天空の社(やしる)に、幾多の危機を乗り越え、よくぞ今日、継承され舞われて「在る」ことか…。そして、若者が2人、その継承者として日々奮闘しているという事実は、私には奇跡とも映る。他の弓神楽では継承者難が深刻だ。

大谷芳史さん(36歳)と坂上(さかうえ)元太さん(31歳)。



大谷芳史さん



坂上元太さん

大谷さんは十津川村生まれ、在住。社会福祉協議会職員。地元の「大踊保存会」メンバー。昨年暮れ引退した先代神子(みこ)に「弓神楽やったらどう」と声を掛けられ、精進の末、平成22年の秋の例大祭で正式デビューした。坂上さんは大阪外大卒のあと京都大学大学院で教育学を修了。現在、新宮市で学習塾経営。

一昨年、バイクでたまたま玉置神社に寄った縁から毎月1回参拝に。昨春秋、練習中の大谷さんから誘われ体験入門。「太鼓と力ネのリズムに原初性を感じ」、魅力にとりつかれた。今年元日の歳旦祭でデビュー。

玉置神社の弓神楽は、記載した古文書がほとんど無く、謎に満ちている。『玉置三所権現社両部習合之巻』宝暦13年(1763)玉置神社蔵IIの弓神楽之記によると、古昔、玉置権現

が元木という白木の弓と蓬(よもぎ)の矢で荒神悪神を射伏したのが始まりとされる。明治6年頃に廃絶したのが同21年に復活、今に至る。所作は口伝。舞い手、そして太鼓と手平金の叩き手の2人の神子がいなくなると、自ずと「消滅」する。

太鼓に合わせ、神楽鈴がしゃんしゃんと鳴る。「熊野なる玉置の宮の弓神楽弦音(つるおと)すれば悪魔退く」。優雅な舞。矢が「だんつ」と音をたてて的を射る。秋の例大祭、元日の歳旦祭、あるいは練習中でも、爽やかな若者の弓神楽をご覧になり、「がんばってな」と応援してやっていたきたい。私は心からそう願う！

元読売新聞社会部記者 水野成之

出雲大社玉置教会祖霊祭併せて 弓場教会長就任奉告祭

前日の雪が残るも陽はまた登り春の装いも間近か、弥生22日春期祖霊祭斎行。

女性神職の目出度い舞も奉納。華やぎも添えて、いつか来た道、御霊様方にお逢いしました。

併せて、出雲大社玉置教会教会長に任ぜられた弓場玉置神社宮司の就任奉告祭も試みました。予想以上の方のご参列もあり、皆様ありがとうございました。



初々しい 女子大生巫女さん

玉置神社の授与所にチャームिंगな仕女(しじょ)が現れた。神職を補佐する女性奉仕者、いわゆる巫女だ。弓場麻妃(あさひ)さん(22歳)。大阪大学外国語学部4年生。3年の時、スウェーデンに私費留学した。弓道3段。

宮司の甥のお嬢さんで、学業の合間、昨年大晦日から正月2日まで仕女としてデビュー。3月の初午祭から約2週間、また奉仕した。明るく、笑顔が輝くばかり。現代っこだがどこか古風な風情も。

「聖域に身を置き、神様に恥ずかしくない生き方をしなくっちゃ、と今、思います」。

運が良ければ・・・彼女が学業の合間なら・・・。お守りやお札を「どうぞ」と・・・。



向上心あふれる 若手の神職さん



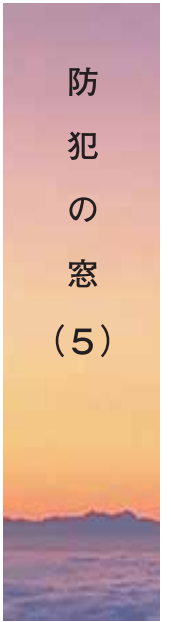
深瀬浩司さん(42歳)は今のところ月8日程度勤める玉置神社の助勤の神職だ。とにかく負けず嫌い。「やるんやったら、ちゃんとやりたい」。神社を支える若手の一人。

十津川村出谷生まれ。現在、同村武蔵で奥さん、2人の男の子と暮らす。義兄が経営する土建業の仕事が本職。地元の四所神社の権禰宜。

2年間の通信教育で神職資格を取得した。仕事で疲れた身体にムチを打ち、深夜、早朝、レポートに取り組んだ。家で応援してくれた。

「振り返ると、勉強が楽しかった」。そして今、「自分は、いいことをやっている」と。まだ玉置神社神職になって1年4か月余り。上の位を取るために徹夜で勉強中。「古事記も日本書紀も学びたい」(インタビュー、水野)

防犯の窓 (5)



ケース①..警察官騙りのオレオレ詐欺

警察官を騙る犯人から「あなたの銀行口座が悪用され、とめられています。使えるように手続きするのでキャッシュカードを受け取りにうかがいます。暗証番号を教えてください」と電話がかかり、自宅に来た者にカードを渡したところ、後で口座から現金を引き出されてしまう。
※警察官や銀行協会の者が、このような電話をすることはありません!

ケース②..医療費の還付をうたった還付金等詐欺

役場の職員を騙る犯人から、「医療費の還付金があります。期限が過ぎていますが本日中なら手続きができます。今からATMに行ってください」と電話がかかり、携帯電話で指示を受けながらATM機を操作した結果、相手の口座に送金してしまふ。
※ATM機から還付金を受けることはできません!

ケース③..うまいもうけ話による詐欺

複数の会社を騙る犯人から「A社は優良企業ですよ」「投資しませんか」「必ずもうかります」「名義だけ貸してください」などと電話がかかり、その話に応じたところ、後に「名義貸しが警察にばれた」「あなた名義でお金を送ってほしい。後で必ず返す」などと言われ、多額の現金を騙し取られてしまう。

※「必ず儲かる」なんてありません。また、現金を宅配便やゆうパック等で送るように指示された場合は100%詐欺だと思って下さい! 宅配便やゆうパックで現金を送ることはできません!

(奈良県五條警察署十津川警察庁舎)

大日堂社転換祭

大日堂社には二体の御仏像が背中合わせに、一体が正面を向いて一体が背後で、鎮っています。

この転換祭を初めて正式に2月3日に斎行。

この日は瞬間的にしろ二体の御仏像を同時に拝み奉ることの出来る貴重な日でもあります。

8月8日は大日堂社祭を大々的に斎行致しますが、御仏像を転換することはいたしておりません。

紀元節祭

残雪も凍り寒さ厳しき中、齋行。国常立尊、伊弉諾尊、伊弉册尊、天照大御神、神日本磐余彦尊が御鎮座する本殿の中も容赦なく寒さが漂う。

月次祭、年中祭事、奉納祭等の臨時祭など、どのようなお祭りも、いずれも丁寧な誠心誠意齋行してきているところであります。

神日本磐余彦尊がこの神社の地で皇軍を休め、尊き物をお納めなさったと伝えられている。少しでも規模を大きく、パワフルなお祭りを目指して参りたい。



吉野ビジターズビューロー ご一行ご参拝

吉野ビジターズビューローのご案内で20名の中高年の方々をご参拝。宮司、襖絵を中心に神社の概要等を説明。皆さん明るく円満に経験と教養を積んでこられた方々と拝察。脱線気味(宮司の説明はよく脱線するのです)のトークも、笑いときちんとした質問等でコミュニケーションを図られ、また、文化発信の場となりました。皆さんありがとう。またお会いしましょうね。



十津川村観光協会イベント情報

21世紀の森・紀伊半島森林植物公園
石楠花開花 4月下旬から5月下旬
5月3日・4日・5日 バザー有り
5月3日・5日餅まき有り

6月上旬
 玉置神社の石楠花の花柄摘み作業
 ボランティアの方も歓迎

世界遺産・源泉かけ流し 10周年記念

鮎 友釣り 体験

鮎つかみ

初心者向け

6月21日(土) 7月26日(土)
 鮎友釣り・鮎つかみ体験

十津川村観光協会

奈良県吉野郡十津川村小原315-1
 TEL 0746-63-0200




玉置山文化サロン

神話・オルフェウス伝説

神話は現実と別次元の話ではなく、人々が歩んできた歴史・人々の知恵や思いを垣間見ることが出来る。その多くは示唆に富む灯のようなものであるように思う。いや、今も形を変えて神話の世界と同じことを繰り返しているのだからとすら思う。

ジャン・コクトーがギリシャ神話のオルフェウス伝説を題材にして制作した映画「オルフェ」と同じくマルセル・カミュが監督した「黒いオルフェ」を改めてみた。

「オルフェ」では、この世に現れた死神である美しい女王に魅せられた詩人オルフェが、事故で亡くなった妻のユーリディスを生の世界へ連れ帰ろうと、死と生の世界を隔てる鏡を通り抜けて死の世界に行き、妻を連れ戻そうとします。

絶対に後を見ないという条件で連れ帰ろうとしますが、妻ユーリディスはオルフェが女王を愛していること知り、わざと後を向かせて消え去ります。

オルフェは生の世界へ戻りますが、トラブルにより殺され死の世界へ行くこととなります。鏡の向こうの死の世界の入口で妻は待っています。女王は迷いつつも、オルフェを妻とともに生の世界へ返すのが本来の愛のあり方だと悟り、オルフェを生の世界へ返します。

死の世界での掟に逆らったことにより、女王はそれを償うために去って行くのです。

「黒いオルフェ」では、ブラジルのリオを舞台に、市内電車の運転手でギターと歌・踊りの上手な若者オルフェが、田舎から出てきたユーリディスという若い娘と恋に落ちます。

ところで、田舎においても死神に追いかけていたユーリディスは、狂熱のリオのカーニバルの夜にまた死神に追われ追詰められて死にます。

オルフェはユーリディスの死体を抱きかかえてさまよいますが、怒り狂った恋人のミラに石つぶを投げられ断崖絶壁から落下して死んでしまいます。

後には何も知らない子供たちがその断崖でギターを奏で踊り続けるのです。
この映画は、リオのカーニバルシーンでサンバのリズムと踊りの迫力は圧巻、そしてオルフェの歌う主題歌は超ヒットしました。

2本の映画、黄泉の国へ亡き妻伊弉冉(イザナミ)を連れ戻しに行った伊弉諾(イザナギ)のエピソードも思い出されますね。

ギリシャ神話の「オルフェウス伝説」、映画「オルフェ」と「黒いオルフェ」、そして、古事記の「黄泉の国の段」。いかがですか、暫しその世界を旅してみてもいいのでは？

雪の玉置神社

昨年から珍しく雪の訪れがなく、いずれ雪の日々が来るとかねてから心の準備はしていたが、やはり来ました。

・2月14日どこかい雪が・・・出社を試みるもやはり道は絶望的に通行不可能。宿直の神職にご奉仕と守りを委ね、自宅待機。



・2月15日やはり神社のアクセスは不可能。前日宿直の神職より被害状況の報告が次々と寄せられる。雪と猛烈な風によりかなりの被害。社務所をはじめ地震でも軽く一揺れすれば、想像したくない状況が・・・。空洞部分が大半を占める天然記念物指定の杉の巨樹群の一部が雪・強風・台風で倒れると社務所は確実に運命を共にすることとなる。

夕方、1名の職員が徒歩で神社に向かう。道は利用出来ず、漆黒の闇の中を山中登る。21時には神社へたどり着き急急の対処を講じて引き返す。

・2月16日未明5時45分頃、神社を辞して自宅へたどり着いたとの報告。彼は暗闇の山中を一人で降りてきたのだ。雪・風・雨の厳しい環境下の雪の日のごく一部のスケッチ。今回は大変な大雪であったにしろ、毎年これに近いような状況が何日もある。

それでも参拝しようと試みる方々、何とかたどりつかれた方もある。玉置神社は幸福な神社だと感謝の日々。

神社日誌抄

- 12月17日 ・新宮信用金庫十津川支店長及び南都銀行十津川支店長参拝
- 12月23日 ・シエスタ山コーデイナーター中山美保様グループ参拝
- 12月25日 ・ホテル昴マナーシャ参拝
- 12月31日 ・古神札焚上祭
- 1月1日 ・除夜祭・除夜太鼓
- 1月2日 ・歳旦祭・古神楽奉納
- 1月6日 ・ハーパー・大生ヴァイオリン奉納演奏
- 1月12日 ・太陽エンジニアリング株十津川リサイクルセンター御一行参拝
- 1月15日 ・五條警察署十津川分庁舎所長 村田喜男様参拝
- 1月19日 ・十津川村村長 更谷慈禧様参拝
- 1月28日 ・三ノスカバリージャパン誌スタッフ来社。社内写真撮影
- 2月3日 ・(株)鈴工社長 牛場まり子様、牛場正人様参拝
- 2月8日 ・古神札御焚上祭
- 2月11日 ・五條土木事務所復旧復興課御二行参拝
- 2月13日 ・大日堂社転換祭
- 2月14日 ・紀元節祭
- 2月16日 ・吉野ビクターズビエロー御一行参拝
- 2月22日 ・2月14日・15日・豪雪のため参拝不可能
- 2月22日 ・三柱神社月次祭(豪雪のため一日遅れで斎行)
- 2月22日 ・吉村祐香権禰直就任奉告祭
- 2月22日 ・三柱神社御稻荷様眷属奉納奉告祭。(株)シスコ代表取締役 林一雄様奉納、
- 2月22日 ・チエンソーアート・ジャパン城所ケイジ様製作
- 2月26日 ・祭式研修(着装)
- 3月1日 ・十津川村縁活ツアー御一行14名参拝
- 3月1日 ・(株)鶴工舎 雪による本殿屋根被害状況の調査
- 3月3日 ・十津川村教委 本殿・出雲大社玉置教会を現場調査
- 3月5日 ・十津川村観光協会にて広報活動について意見交換
- 3月6日 ・本殿屋根正面一部落下の恐れがあり、(株)鶴工舎が緊急修理
- 3月7日 ・宮司、奈良公園管理事務所設置のバイオトイレのおがくす入れ替え作業等の現地視察及び奈良県文化財保存課を訪問
- 3月11日 ・JTBノジュールツアー御一同参拝
- 3月12日 ・三柱神社御稻荷様眷属像写真奉納奉告祭。写真家大世晃儀様撮影
- 3月15日 ・初午祭
- 3月18日 ・弓場宮司、出雲大社教団造千家尊祐様より出雲大社玉置教会長及び代表役員の辞令交付される。
- 3月22日 ・弓場宮司、出雲大社神楽殿にて出雲大社玉置教会会長及び代表役員就任奉告祭
- 3月22日 ・出雲大社玉置教会祭壇等修理開始
- 3月22日 ・出雲大社玉置教会租霊祭
- 3月22日 ・弓場宮司、出雲大社玉置教会にて同玉置教会会長及び代表役員就任奉告祭

御稻荷様眷属(けんぞく)像 奉納奉告祭

御稻荷様眷属1対が、株式会社シスコ代表取締役林一雄様から奉納されました。木製の大型眷属像で製作はチェンソーアト・ジャパンの城所ケイジ様。チェンソーを駆使して1本の大木から見事に1対の像に変身させる。圧巻である。初午の日にご披露させていただきました。

まずは見ていただくことですね、皆さん。三柱神社は熱心な参拝者の方から、鳥居・注連縄・眷属像などいろいろとお志をいただき、一層力がみなぎって来ようです。



御稻荷様眷属写真奉納

若手写真家大世晃僖様が3月12日の初午祭に合わせて御稻荷様眷属像の写真2点が奉納された。

氏は狐の像を各地の稲荷社で撮影。三柱神社においても撮影された。大阪で発表・展示されたが、一見してその迫り来る重さに立ち往生の心地。ダメモトで奉納をお願いしたところお受けいただき初午祭に氏の母上共々参拝されました。社務所に展示してあります。ご覧になれば衝撃波が走ることも間違いありません。お待ちしております。



弓場宮司、出雲大社(おおやしろ)玉置教会教会長及び代表役員就任

出雲大社の玉置教会の建物は玉置神社に隣接しており、明治18年に全郷民(村民)が大社教に帰依することとなった。

このたび、玉置神社弓場宮司が、元玉置神社宮司で前出雲大社玉置教会教会長の井上賢豊国王神社宮司から引き継ぎ、出雲大社玉置教会教会長及び代表役員に任ぜられ、それぞれ辞令交付式と就任奉告祭が出雲大社において執り行われた。

辞令交付式の後には、出雲大社教国造千家尊祐様、出雲大社教総監千家隆比古様、出雲大社教副総監千家和比古様とご歓談の時間をいただき暖かいお言葉・ご助言などを賜り、みるみる視野が広がり、また全身に力がみなぎってくるような心地、それは実感でした。



お世話くださったご担当者様をはじめ、皆様のご丁寧なご説明・ご案内にも只管感謝。

年末年始の神事・催事

山上とて冷気は厳しく忍び寄るも連日天候に恵まれました。

12月31日は大祓式・古神札焚上祭・除夜祭が斎行され、地元太鼓グループ「鼓魂」がお世話する除夜太鼓は参列者が祈りを込めた一打(ひとつち)が未明まで響きました。

元旦は早朝から歳旦祭。東北からの参拝者ももうお馴染みさん。

伝統芸能「弓神楽」を本年は神楽殿においても復活。朝から夕方近くまでご奉納。名物のひとつ、振舞ぜんざいは1千杯！に迫りました。

みなさまへ奉賛金ご協力をお願い

玉置神社創始より二千年、現在神社は始まって以来ともいえる危機に瀕しております。

神社では老朽化が進む建物・樹木につきましては毎年、一歩一歩ではありますが修復や保護対策を施してまいりました。

しかしながら近年の異常気象が拍車をかけたのか、今回専門家の調査によりほぼすべての建物において大規模な工事着工が急がれる、更には御神木のうち何本かもいつ倒れるか予断を許さない状況であることが判明しました。

神社の象徴でもある樹齢三千年の巨木たちは空洞化が進み、文化元年(1804)に建立された国の重要文化財の社務所は傾き著しく、江戸中期に狩野派の手によって描かれた襷絵はいたるところ剥がれ落ち、悲鳴をあげています。

この危機的状況を神社のみの経済力では到底乗り越えることができません。

つきましては、対策の一環といたしまして皆様からの奉賛金(一口五千円)を受け付けております。

お納めいただいた奉賛金は玉置神社守護維持のために大切に使用させていただきますので、何卒趣旨をご理解の上、皆様のお力添えとご協力を切に願っております。

なお、現在自然環境保護と参拝者様がより快適に使用していただける様、環境配備型のトイレ設置に向け、準備を進めています。こちらの方にも是非ご賛同とご協力の程を賜りたく重ねて宜しくお願ひ申し上げます。

玉置神社
玉置神社崇敬会